

白保魚湧く海保全協議会 平成 23 年度活動報告

1. グリーンベルト大作戦（月桃植え）

農地からの赤土流出防止のための月桃植えを行った。しらほこどもクラブ、白保中学校でのボランティア植栽。地域高齢者の方々にお願いし、苗の調達及び植え付けを実施する手法などを組み合わせて植え付けを行なった。

また、グリーンベルト大作戦を白保に訪れる団体等の体験メニューとして活用することとし、駒沢大学やアサヒワソールクラブ、東京農業大学などの受入を行った。



2. 国連大学ドキュメンタリー取材受入れ

昨年の生物多様性条約第十回締約国会議での里海への関心の高まりを受けて、国連大学金沢オペレーションユニットでは、里海を海外に紹介するためのドキュメンタリーフィルムの製作を行うこととなった。全国 6 箇所の候補の一つとして白保での海垣復元・活用の取り組みが取り上げられた。



3. 白保での自然体験プログラムづくり（やまぐら自然学校など）

白保の子どもたちのサンゴ礁保全意識の醸成や地域資源の見直し、環境教育・自然体験プログラムの確立を目指した体験事業「やまぐら自然学校」をしらほサンゴ村と協力して立ち上げた（校長 山城常和会長）。



4. 赤土堆積量調査の実施及び調査結果の発表

白保サンゴ礁の赤土堆積量調査をしらほサンゴ村からの委託として実施する体制の構築に向け、2回開催した。



5. 久米島視察研修会（NPO 設立準備）

白保村ゆらていく憲章推進委員会、白保日曜市のメンバーなどとともに12名で久米島を訪問し、NPO法人島の学校久米島、久米島ホテルの会などの取り組みについて視察、研修を行った。特に、島の学校については運営体制や事務局機能、収益構造など詳細な聞き取りを行なった。



6. 阿嘉島、国頭村エコツアーリズム視察研修

サンゴ礁保全と地域活性化の両立のためには白保でのエコツアーリズムの推進が不可欠である。そのためエコツアーリズム先進地である慶良間諸島、国頭村での取り組み状況について視察研修を行った。なお、研修費用はしらほサンゴ村より支援があった。



7. 自然体験キャンプ「南の島のエコ体験 飯館・白保こども交流会」の開催

福島県飯館村の小学生11名、引率者2名を招待したエコ体験事業を実施した。

同交流会の受入は、昨年3月11日の東日本大震災の復興について白保らしい支援をしたいという思いと重なり、企画段階から多くの村人が関わり成功裏に受入を行うことが出来た。



8. サンゴ礁保全行動計画・サンゴ勉強会

環境省のサンゴ礁保全行動計画フォローアップ会議や石西礁湖自然再生協議会の委員を対象に、赤土対策の現場をめぐるフィールド勉強会をコーディネートし、白保サンゴ礁保全上の課題等の問題提起を行った。



9. 沖縄ふるさと百選認定式

海垣(いんかち)漁体験の実施や世界海垣サミットの開催など、伝統文化や自然環境の保全と活用による持続的な地域づくりとして、「白保村ゆらていく憲章に基づくふるさとづくり」に取り組んでいることが評価され、沖縄県が選定する沖縄ふるさと百選の集落部門に白保集落が認定された。



10. 石垣島サンゴウィークへの協力

3月2日から10日まで(3月5日=サンゴの日を含む約一週間)石垣島を挙げてサンゴ礁保全を進めるためのイベントとして開催された「石垣島サンゴウィーク」(主催:石垣市観光協会)への協賛として、サンゴ村カフェ(サンゴについてのトークショー)、八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展の開催、グリーンベルト大作戦(月桃植えの実施)を行なった。



11. 日本財団助成金決定「地域連携による石垣島の活性化(サンゴ水槽学習開発と実施事業)」

平成23年度に申請していた表記の助成金が確定した。今後、200万円×3カ年で、サンゴ水槽やこれまで協議会が取り組んできた、グリーンベルト大作戦、海垣漁体験、ギーラ放流などの体験プログラム化に取り組む予定。

<主要な活動日程>

<4月>

- 4月2日 海垣修復作業
国連大学ドキュメンタリー取材受入れ
- 4月3日 月桃植え（こどもクラブでのボランティア植栽）
国連大学ドキュメンタリー取材受入れ
- 4月5日 海垣漁体験
国連大学ドキュメンタリー取材受入れ
- 4月17日 赤土対策現地視察

<6月>

- 6月8日 月桃植え（地域高齢者の方々による植え付け）
- 6月14日 白保魚湧く海保全協議会監査
- 6月22日 白保魚湧く海保全協議会理事会
- 6月30日 白保小学校シュノーケル授業（プール）
白保魚湧く海保全協議会総会

<7月>

- 7月4日 駒澤大学地理学科巡検受入れ（月桃植え体験ツアー実施）
- 7月5日 上記、白保史跡めぐりツアー受入れ
- 7月5日～10日 アオサンゴ群落調査
- 7月7日 白保小学校シュノーケル・サンゴ観察会
- 7月20日 沖縄大学地域研究所・やまぐう自然学校打合せ

<8月>

- 8月28日 アサヒワンビールクラブツアー受入れ
月桃植え
- 8月31日 明治学院大学によるイトバショウ植え（農地の景観整備）

<9月>

- 9月1日 やまぐう自然学校・キャンプ下見
- 9月1日 白保海域での区画漁業権の取得について八重山漁協との調整
with 魚湧く海保全協議
- 9月5日 白保中学校シュノーケル（プール）
- 9月6日 JICA研修受入れ
- 9月15日 白保魚湧く海保全協議会・理事会
- 9月20日 ギーラ（ヒメジャコ）モニタリング調査
- 9月23日～25日 しらほこどもクラブ・やまぐう自然学校開催
- 9月29日 福島県飯舘村子どもキャンプ打合せ

<10月>

- 10月6日～8日 NPO法人島の学校久米島など久米島の取り組み視察

10月14日～18日 阿嘉島、国頭村エコツアーリズム視察
10月21日 グリーンベルト大作戦（月桃植え1,300本）
10月23日 白保ハーリー組合、魚湧く海保全協議会 合同海浜清掃
10月26日 白保魚湧く海保全協議会理事会

<11月>

11月23日 福島県飯舘村子供キャンプ受け入れ打合せ（NPO法人エコロジージャーキスケーブ）
11月26日 白保魚湧く海保全協議会理事会（福島県飯舘村受け入れ委員会を立上げ）
11月30日 福島県飯舘村受け入れ委員会 第1回会議

<12月>

12月7日 石垣市、沖縄県赤土流出箇所現場確認
12月9日 農と緑の風景づくり（農地へのイトバシヨウ植え；東京農大）
12月14日 白保魚湧く海保全協議会 赤土堆積量調査
12月15日 神奈川大学附属高等学校赤土分析体験受け入れ
12月18日 グリーンベルト大作戦（月桃植え700本）
海浜清掃

<1月>

1月20日 里海研究会（九州大学）での世界海垣サミット報告
1月25日 飯舘・白保子ども交流会検討チーム打合せ

<2月>

2月3日 白保魚湧く海保全協議会理事会の開催（サンゴ礁保全行動計画勉強会、飯舘村受入等）
2月4日 ふるさと百選認定式
2月5日 飯舘・白保子ども交流会 参加者説明会 in 福島
2月12日 白保魚湧く海保全協議会・海浜清掃実施
2月12日 サンゴ礁保全行動計画フォローアップ会議・サンゴ勉強会
2月13日 サンゴ礁保全行動計画フォローアップ会議
2月15日 修学旅行受入（龍谷大学附属平安高校）
2月21日 白保村ゆらていく憲章推進委員会（ふるさと百選認定、飯舘村受入等）
飯舘・白保子ども交流会検討チーム打合せ
2月28日 白保魚湧く海保全協議会理事会の開催（石垣島サンゴウィーク、サニズ海垣漁）

<3月>

3月2日 八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展スタート（第一期4月1日まで）
3月4日 サンゴ村カフェ（サンゴ、サンゴ礁保全、白保のウミガメ調査の

- 発表)
- 3月10日 地域資源の保全と利用に関する勉強会「白保のサンゴはなぜ減ったか？」
国立環境研究所 山野氏、琉球大学 兼城氏による調査報告（山野氏：土地利用の変遷、サンゴ年輪成分分析。兼城氏：農薬成分分析などの水質調査）
- 3月11日 合同写真・ポスター展 出展団体交流会開催
- 3月15日 飯舘・白保こども交流会 ホームステイ受入家庭説明会 in 白保
- 3月18日 白保魚湧く海保全協議会 赤土堆積量調査実施
- 3月20日 飯舘・白保こども交流会検討チーム打合せ
- 3月23日 サニズ海垣漁準備
- 3月24日 サニズ海垣漁
- 3月26日 飯舘・白保こども交流会検討チーム最終調整
- 3月27日 飯舘・白保こども交流会受入スタート（4月1日まで）
- 4月1日 日本財団助成決定
- 4月15日 日本財団助成キックオフミーティング